

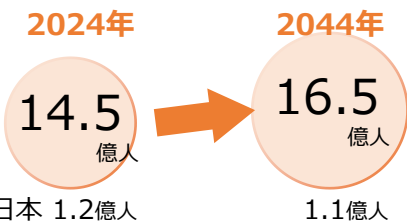
インドの経済発展とイノベーション政策の推進

パワフル・インド（政策関連） ～世界が注目するインド、次なる経済大国への飛躍～

▶ インドの躍進とイノベーション政策

ナレンドラ・モディ首相のもと、3期目を迎えた「モディ政権3.0」のインドは、既に中国を抜いて世界最多の人口を抱え、今や主要国の中でも最も高い経済成長率を誇る国へと躍進しています。持続的な内需拡大と構造改革の加速により、この成長が続けば、2028年にインドは米国、中国に次ぐ世界第3位の経済大国となる見通しです。

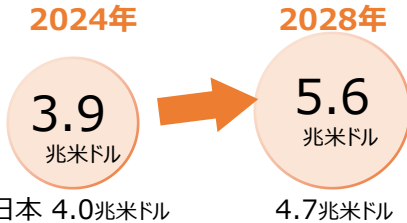
インドの人口推移



（ご参考）日本 1.2億人

1.1億人

インドの名目GDP推移



（ご参考）日本 4.0兆米ドル

4.7兆米ドル

従来インドは「人口ボーナスを享受する新興国」として、インフラや消費関連セクターが主な投資対象とされてきました。しかし今、インドは新興国から次の先進国候補へとステージを移しつつあります。成長のけん引役として期待されるのは、デジタル技術、イノベーション、そしてそれを後押しする国家戦略です。

<様々な政策例>

Make in India (メイク・イン・インド)	製造業を強化し、規制緩和を通じて対内直接投資を積極的に誘致 ⇒世界にインドの商品を輸出し、グローバルでの存在感を高めます
Clean India (クリーン・インド)	衛生・医療インフラの整備を推進 ⇒死亡率の低下や労働人口の増加が期待できます
Digital India (デジタル・インド)	通信インフラの強化や、デジタル・サービスの拡充 ⇒新たなイノベーションの活性化が期待できます
Startup India (スタートアップ・インド)	起業環境の整備、税制優遇、人材育成を支援 ⇒ベンチャー企業の成長を促し、持続的な経済成長や雇用機会の創出を図ります

▶ 政府主導のイノベーション具体例

India Stack（デジタル公共インフラ）

世界でも類をみないスケールで整備が進むオープンデジタルインフラ。基盤となる「アダール（Aadhaar：ヒンディー語で「基礎」の意味）」制度は、指紋・虹彩などの生体認証により本人識別を行い、2023年時点で国民の90%以上が取得済み。これにより、金融や医療といった各種サービスへの迅速・安全なアクセスが可能となりました。

UPI（即時送金決済システム）

リアルタイム決済を可能にする国家主導の送金基盤。スマートフォンさえあれば即時送金が可能で、国内中小店舗や個人間取引にも広く普及。

これらの取り組みにより、インドはイノベーションを内包する成長国へと変貌を遂げつつあります。今後、世界をリードする企業が生まれる可能性も十分にあると考えられます。

出所：出所：IMF「World Economic Outlook Database, April 2025」、財務省等のデータを基にパインブリッジ・インベストメンツ作成



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会